

## 保健センターの教室など

### 全地域 <半日コース> 糖尿病予防教室

- \*対象/検査で参加を勧められた人、糖尿病に関心のある人
- \*とき/6月30日(木) 午前9時~正午
- \*ところ/大垣市保健センター
- \*内容/管理栄養士・理学療法士による栄養指導、運動実技、体組成測定など
- \*定員/16人(先着順)
- \*持ち物/飲み物、タオル



- \*備考/マスク着用のうえ、動きやすい服装で参加
- \*申込/6月17日までに、同センター(☎75-2322)へ

### 大垣地域 乳幼児相談

- \*とき/6月1・8・15・22・29日 いずれも水曜日の午前9時~11時
- \*ところ/大垣市保健センター
- \*内容/育児や発育などの相談
- \*持ち物/母子健康手帳
- \*申込/5月16日から、同センター(☎75-2322)へ

### 全地域 ひよこ学級

離乳食(初期)

- \*対象/5~6か月児の保護者
- \*とき/6月6日(月) ①午前9時30分~10時30分(受付:午前9時20分~) ②午前10時45分~11時45分(受付:午前10時35分~)
- \*ところ/大垣市保健センター
- \*内容/離乳食(初期)の進め方、事故予防の話など
- \*定員/各15人(先着順)
- \*持ち物/母子健康手帳



- \*申込/5月16日から、同センター(☎75-2322)へ

### 全地域 離乳食(中期~後期) ひよこステップ学級

- \*対象/7~11か月児の保護者
- \*とき/6月10日(金) 午前10時~10時45分(受付:午前9時50分~)
- \*ところ/大垣市保健センター
- \*内容/離乳食(中期~後期)の進め方、歯科指導
- \*定員/15人(先着順)
- \*持ち物/母子健康手帳
- \*申込/5月16日から、同センター(☎75-2322)へ

### 大垣・上石津・墨俣地域 健康相談

- \*とき/下表のとおり いずれも午前9時~11時

- \*内容/生活習慣病の予防、こころの病などに関する相談
- \*申込/5月16日から、各保健センターへ



内容	とき	ところ・問合せ
一般相談	6/7(火)・21(火)	大垣市保健センター(☎75-2322)
理学療法士・歯科衛生士・栄養士・保健師による相談	6/21(火)	上石津保健センター(☎45-2933)
	6/9(木)	墨俣保健センター(☎62-3112)
こころの相談	6/14(火)	大垣市保健センター(☎75-2322)
保健師による相談	6/23(木)	南部子育て支援センター ※予約は大垣市保健センターへ

## HPV感染症定期予防接種のお知らせ

HPV(ヒトパピローマウイルス)感染症定期予防接種の積極的勧奨が差し控えられていた間に機会を逃した人を対象に、改めて接種の機会を提供します。接種対象者には、6月に降に順次案内を送付します。

詳しくは、大垣市保健センター(☎75-2322)へ。

- ◆対象/平成9年4月2日から平成18年4月1日生まれの女性のうち、HPVワクチンを合計3回接種していない人 ※平成18・19年度生まれの女性は、通常の定期接種の年齢を超えても期間内は接種できます
- ◆接種期間/令和7年3月31日まで
- ◆接種場所/市内協力医療機関(市HPに一覧を掲載)  
※事前に電話予約が必要



## 40歳を迎えたら 骨粗しょう症検診を!

人間の骨量は20歳前後まで増え続け、40歳前後から減少し始めます。閉経前後からは、さらに急速に減少し、骨密度(一定量あたりの骨量)も減少します。自分自身の骨量を知り、『貯骨』ができる生活を送りましょう。

- ◆対象/市内に住民登録がある40~70歳の女性 ※骨粗しょう症治療中の人は除く
- ◆受診期間/6月1日(水)~10月31日(月)
- ◆受診場所/市内協力医療機関(市HPに一覧を掲載)
- ◆受診料/500円
- ◆受診方法/10月20日までの平日に、大垣市保健センター(☎75-2322)、上石津保健センター(☎45-2933)、墨俣保健センター(☎62-3112)のいずれかへ申し込みのうえ、医療機関で受診



## 30歳から

受診できます!!

## 胃がんリスク検診

市は、血液検査でピロリ菌の抗体と胃の炎症や粘膜の状態を調べる「胃がんリスク検診」を行っています。

詳しくは、大垣市保健センター(☎75-2322)へ。

### 胃がんリスク検診とは

血液検査でピロリ菌の抗体と胃の炎症や粘膜の度合いを反映するペプシノーゲン測定し、その組み合わせにより胃がんのリスクをA~Cに分類して評価する検査です。ただし、胃がんそのものを見つける検査ではありません。



ピロリ菌感染によって胃の粘膜の萎縮が進むほど、胃がんを発症しやすくなります。

### ピロリ菌と胃がんの関係性

ピロリ菌に感染している人と感染していない人を10年間調査したところ、感染している人は2.9%の人に胃がんが発症したのに対し、感染していない人では胃がんが発症した人はいなかったという結果が出ました。このことから、ピロリ菌の感染と胃がんの発症には大きな関連があると考えられています。

- ◆対象/30~74歳の人(過去に受けたことのない人) ※次の①~⑤に該当する人は判定が難しいため、受診をお断りしています
- ①食道・胃・十二指腸の病気が疑われる人、または治療中の人
- ②胃酸分泌を抑える薬を飲んでいる人
- ③腎臓の機能が悪いと言われていている人
- ④胃切除の手術を受けた人
- ⑤ピロリ菌の除菌治療をすでに受けた人



- ◆検診料/500円 ※生活保護世帯や中国残留邦人の人は無料となりますので、事前に同センターで手続きを行ってください

## 結核・肺がん夜間検診

- ◆対象/【結核検診】65歳以上の人 【肺がん検診】40歳以上の人 【喀たん検査】50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の希望する人
- ◆とき/6月15日(水) 午後6時~7時
- ◆ところ/中川ふれあいセンター
- ◆受診料/無料(喀たん検査のみ500円)
- ◆持ち物/受診票
- ◆備考/受診票がない人は当日配布
- ◆問合せ/大垣市保健センター(☎75-2322)へ

